

1 指導概要

教科		科目		
国語		国語入門	単位数：2単位	
指導目標：高校国語の学びを始める前の復習として、中学校で学習した基礎的・基本的な事項について整理、確認する。また、自分の欠点と長所を把握することで、高校国語での学習充実を目指す。				
メディア視聴	あり	60%	教科書	東京書籍「高校国語入門」
スクーリング	1単位時間×2回	合格時間数2時間以上	学習図書	自校作成の教材資料を使用
レポート	全6回	合格枚数6枚	副教材	なし
試験	あり	試験評価割合70%	評定	100点法5段階評定
回	高校通信教育講座 (単元・学習内容)		レポート (締切期日)	スクーリング (日程と内容)
1	漢字のまとめ ①・②		第1回 (4/30)	第1回 【現代文②随筆 ③評論】 ※随筆、評論それぞれの読み方を理解しながら、課題文を通読する。 ※筆者の主張(主題)は何であるか、自分の考えをまとめる。
2	漢字のまとめ ③・④ 語句の意味		第2回 (5/30)	
3	言葉のきまり 現代文① 小説		第3回 (6/30)	
4	現代文② 随筆 現代文③ 評論		第4回 (7/30)	
5	現代文④ 韻文 古文入門		第5回 (8/30)	
6	漢文入門 日本の文学		第6回 (9/30) 提出期限 (11/30) ※提出予備日	第2回 【漢文入門 日本の文学】 ※漢文の読み方、返り点、送り仮名、書き下し文について確認し、読み方の順番を習得する。 ※『早発白帝城』を読み、情景や作者の心情について自分の考えを深める。 ※漢詩の形式を理解し、絶句・律詩の違いについて説明できるようにする。 ※絶句と律詩について、音韻となる句末を理解する。

2 評価の観点

知識・技能	生涯にわたる社会生活において必要な国語の知識や技能について理解する。
思考・判断・表現	自分の考えや意見を深め、広げていく。また、立場の違う相手の意見なども理解するように努める。
主体的に学習に取り組む態度	意欲的にレポート作成に取り組みスクーリングに出席し身近な事象を歴史的に探究しようとしている。

3 評価の方法

スクーリングへの出席（取り組む姿勢）、レポートの提出（レポートの内容）、試験結果を総合的に判断し、評価します。

4 担当者からのメッセージ

スクーリングへの出席（取り組む姿勢）、レポートの提出（レポートの内容）、試験結果を総合的に判断し、評価します。面接指導だけで教科書の全範囲を解説することは難しく、説明のスピードも速くなります。教科書を読み、各回の範囲を予習し、レポートをできるだけ完成させた上で面接指導にのぞむことを推奨します。分からないところは教科担任に聞くのもいいでしょう。色んな本を読むことをお勧めします。